

「落花生」生育情報（第3報）

平成20年9月10日
千葉県農林水産部
生産販売振興課

1 生育状況

8月下旬の天候は、上空の寒気や湿った気流が入った影響で曇りの日が多く、降水量は平年並み～多く、日照時間はかなり少なく経過しました。

収量の目安となる㎡当たり乾燥さや実重は、「千葉半立」が平年の79%、「ナカテユタカ」が平年の101%と、「千葉半立」で平年をやや下回っています。

また、さや乾物率は、「千葉半立」が平年の85%、「ナカテユタカ」が平年の94%と、さやの熟度はやや遅れています。

調査ほ場における9月1日現在の生育状況は、「千葉半立」は「やや不良」、「ナカテユタカ」は「並」です。

また、一部のほ場では白絹病の発生が見られています。

作況調査成績（9月1日調査）

品種名	年次	は種日	開花期	地上部 生体重 (g/株)	さや実数 (個/株)	上さや数 (個/株)	下さや数 (個/株)
千葉半立	本年	5/25	7/5	445	44	9	28
	平年	5/23	7/3	586	48	17	30
	対比	2	2	76%	90%	54%	93%
ナカテユタカ	本年	5/29	7/11	464	59	21	30
	平年	5/29	7/4	427	48	22	27
	対比	0	7	109%	123%	95%	111%

品種名	年次	㎡当たり 生さや実重 (g)	㎡当たり 乾燥さや実重 (g)	さや乾物率 〔乾燥さや実重 生さや実重〕 (%)	上さや 不稔歩合 (%)	生育状況
千葉半立	本年	832	174	21%	10%	やや不良
	平年	869	221	25%	6%	
	対比	96%	79%	85%	174%	
ナカテユタカ	本年	974	274	29%	11%	並
	平年	893	271	31%	6%	
	対比	109%	101%	94%	183%	

* 平年値は平成13～19年（過去7年間）の最大値・最小値をのぞいた5カ年の平均値

* 対比は日数、又は平年比%

* 作況調査ほ場設置場所
千葉半立：千葉市・八街市・香取市・芝山町
ナカテユタカ：千葉市・旭市・白子町・袖ヶ浦市

2 これからの管理のポイント

必ず「試し掘り」を行って適期収穫しよう！

収穫適期の目安は、「千葉半立」が開花期後95日、「ナカテユタカ」が開花期後80日です。今年は平年よりさやの熟度がやや遅れていますが、掘り取り時期に注意する必要があります。必ず試し掘りをして、適期収穫に努めましょう。

特に、「ナカテユタカ」は「千葉半立」と異なり、葉が繁っているうちに収穫適期となります。また、掘り遅れは食味を著しく低下させます。十分注意してください。

落花生試験地（八街市・マルチ栽培）での収穫期の目安

品種名	千葉半立		ナカテユタカ	
は種日	5月16日	6月16日	5月16日	6月16日
開花期	7月3日	7月22日	6月29日	7月20日
収穫目安	10月6日	10月25日	9月17日	10月8日

*開花期は、ほ場全体の50%程度の株に1輪でも花が咲き始めた日

*収穫期目安は、「千葉半立」が開花期後95日、「ナカテユタカ」が開花期後80日で算出（日数は標準的な目安です。）

おいしい落花生はていねいな乾燥から

おいしい落花生を生産するための乾燥のポイントは、湿気を防ぎ、なるべく風通し良く管理することです。

掘り取った落花生は、5～7日間の地干しの後、風通しの良い場所を選んで野積み（ポッチ積み）を行います。

特に9月から収穫期となる「ナカテユタカ」では、茎葉が多く蒸れやすいので注意が必要です。風通しが良い場所に小さく野積みし、通気性のある稲わらやこもをかぶせて、しっかりと雨を防ぎましょう。通気性のないビニールシートなどは湿気がこもりやすく、カビの発生の要因となるので、使用しないでください。

「落花生栽培管理簿」を確認してください

落花生の収穫期が近づいてきましたが、「栽培管理記録簿」は整っていますか？

「栽培管理記録簿」は、生産者自身が栽培管理や使用した肥料や農薬散布の状況を記録し、それらを集荷業者や量販店を通じて開示することで、千葉ブランド落花生の「安全・安心」を消費者へアピールすることが目的です。

出荷時に集荷業者に速やかに提出できるようもう一度内容を確認し、自分の保存用に控えを用意しておきましょう。